

Ⅲ-1(1)中学校社会 平成25年度佐賀県学習状況調査《中学校3年社会科》

自校の子どもたちの到達状況

思考・判断・表現	技能	知識・理解	今回の結果から見られる自校の課題
<p>○県平均とほぼ同じです。 ○江戸幕府の大老配置の理由を説明するには、県平均を上回っています。しかし、無回答の生徒もいます。 ○資料を基に、日本企業が海外に進出する理由を説明する。は、ほとんどできていません。 ○資料を基に、インドの文化風土に合うか、女性のイギリスに対する不満を説明するがほとんどできていません。</p> <p>☆日ごろから多くの資料にあふれ、資料に頼れさせると、コンドを求め、自分自身どう思うという意見を書かせるようにしたい。</p>	<p>○県平均を上回っています。 ○時差の問題は苦手ではあるが、県平均より上回っています。しかし無回答の生徒がいる。 ○資料から、世界の人口の増加が原因の男女別年齢別人口構成の変化を読み取る問題はよくできています。県平均と同程度である。</p> <p>☆いろいろな資料を提示し、慣れさせよう。</p>	<p>○県平均とかなり上回っています。 ○瀬目の特徴「三陸海岸がアラスカ海岸であること」が読解力が高かったことが基礎の強いところにはほぼ全員が理解しており、県平均を上回っています。</p> <p>☆基礎・基本の定着には、小テストを日ごろから実施する。問題集の活用をすすめる。 ○もっと力ををつけるためには、多くの問題にあたる必要がある。</p>	<p>※自校の課題 基礎的知識が不足している面がある。ハイレベル化し分には回答できるが、いろいろな条件がそろった深い考えは難い。</p> <p>☆自校で育てたい力や学習態度 基礎的知識を定着させていくことが、適切に判断できる能力の育成、どのような資料を多角的に判断し表現する能力をもつべきである。</p> <p>☆改善策 ニュースなどの発表を通して、表現する力や身近な問題から社会の動きを気づかせて、社会に関する興味・関心を持たせる。 ・多様な資料に触れさせる。</p>

Ⅲ-1(1)中学校国語 平成25年度佐賀県学習状況調査《中学校2年国語科》

自校の子どもたちの到達状況をチェックしてみましょう。

話す・聞く力	書く力	読む力	言語についての知識・理解・技能	今回の結果から見られる自校の課題
<p>○県の平均を大きく上回っています。 ○相手やその場に応じた言葉遣いなどについての知識を生かす「言葉の遣い方」や「話し方」について知識を生かして話す「話し方」の問題や方向性を答えて自分の考えをまとめる問題については正答率100パーセントでした。 ○話し合いの問題や方向性を答えての「話し方」の問題については、県平均を下回りました。</p> <p>☆正答率の低い問題は選択問題であり、選択肢の内容を正確に理解する力をつけていきます。</p>	<p>○県の平均を大きく上回っています。 ○項目の役割を捉えて、文章の構成をある「よい」文章を完成させ、自分の考えをまとめて、読み手や受け手に伝わるように文章にする問題は、正答率100パーセントでした。他の問題についてはおおむね、県の平均を上回っています。 ○伝えたい事柄や事柄について、構成を明確にして書く問題については、県平均を下回っています。</p> <p>☆県平均を下回った問題については、「活用」に関する問題であり、言語活動を充実させていく授業実践の中で、習得目標意識を持って書く力をつけていきます。</p>	<p>○県の平均を大きく上回っています。 ○は、読者・読者という表現の下か理解している「文章」に表れているものの見方や考え方を捉え、表現したり、読み手や受け手たり、読み手としての問題は、正答率100パーセントでした。 ○文章の中における語句の意味を的確に捉え、理解する問題については、県の平均を下回っています。オーバーラップ現象などがあります。</p> <p>☆正答率の低い問題は、読者力に関するもので、読書量を増やして生活態度だけでなく様々な場面における読書量を増やしていきます。</p>	<p>○県の平均を大きく上回っています。 ○言語の知識や文法や文法と文章のつながりや、表現力についてはおおむね県の平均を上回っています。 ○読書量を増やして生活態度だけでなく様々な場面における読書量を増やしていきます。</p> <p>☆読書量を増やして生活態度だけでなく様々な場面における読書量を増やしていきます。</p>	<p>※自校の課題 「活用」に関する力に課題があります。また、漢字・漢語の知識に課題があります。</p> <p>☆自校で育てたい力や学習態度 言語に関する力、特に読書・習得目標意識を持って表現する力を育てていきたいとします。</p> <p>☆改善策 言語活動を充実させた授業を行い、読書力・判断力・表現力等を指導目標に心がけていきます。</p>

Ⅲ-1(1)中学校理科 平成25年度佐賀県学習状況調査《中学校2年理科》

自校の子どもたちの到達状況

科学的思考・表現	技能	知識・理解	今回の結果から見られる自校の課題
<p>○県の平均を大きく上回っています。 ○月面での重力の大きさに基づき、1kgのものを考えることなどが得意。ほかの月の重力をそれぞれについて答えられています。 ○表を基に、濃度による水の減少速度の問題では、40%の正答率あり、問題を定めて考えることが苦手な生徒が半数以上います。 ○考えの過程が、問題中にあるときは言葉で説明することができています。</p> <p>☆課題に対する改善の工夫・アドバイス 科学的思考力を育成するために、指導を促して問題解決や学習態度の向上に向け、考え方のポイントをつけます。 *実験について言葉で説明することができず、考えの過程を説明し、さらに深められるようにします。</p>	<p>○県の平均を大きく上回っています。 ○実験中の操作に際しては、観察力や観察力についてですが、メキシコシリンダーの読み取り値も正確に読み取られています。</p> <p>☆課題に対する改善の工夫・アドバイス 日頃の観察や実験活動の中で、器具の取扱いや観察の仕方について習得できるように指導しながら行います。また、自分で読みの読み取りにも配慮しながら指導をお願いします。</p>	<p>○県の平均を大きく上回っています。 ○知識の定着がしっかりとできています。 ○問題の考え方に注目して、計算により答えを出す問題や曖昧な表現の問題などについて、正答率が高くなっています。</p> <p>☆課題に対する改善の工夫・アドバイス 知識の定着をしっかりと確保できるよう、似たような言葉については、選べば正解となるような指導をお願いします。 *計算については、練習問題を増やしながら定着を促します。</p>	<p>※自校の課題 すべての場において、県の平均を大きく上回る結果が得られており、全体としては、十分達成の域に達しています。おおよそ20歳の年齢が伸び、科学的思考力が向上しています。しかし、図や表を読み取って問題に対する答えを導く問題や基本的な計算量の読み取りに課題が認められました。</p> <p>☆自校で育てたい力や学習態度 基礎知識について理解を深め、類似した問題から、読んだり分析したりする思考力を育てたい。また、自分が分かったことについては、言葉で的確に伝えることができる力を育てたい。</p> <p>☆改善策 問題集から読み取ることで、考えの過程を定型的に指導を進めます。また、図や表を読み取り、考えの過程を取り入れ、科学的に分析する力や考え方を身につける指導を行います。</p>

Ⅲ-1(1)中学校英語 平成25年度佐賀県学習状況調査《中学校2年英語科》

自校の子どもたちの到達状況をチェックしてみましょう。

表現	理解	知識理解	全体的に	今回の結果から見られる自校の課題
<p>○県の平均を大きく上回っています。 ○単語テストの得点で理解力が向上した。文脈を定めていない生徒が3割いる。自分の考えを英語の文脈に合わせて表現することができていない。</p> <p>☆日本語表現と英語表現の違いを問題とし、練習問題を複数行い、必要に応じて、表現活動の場を設けて指導をお願いします。</p>	<p>○県の平均を大きく上回っています。 ○長文読解とリスニングが不足が顕著である。特に長文読解では、説明文を苦手としています。</p> <p>☆長文読解に慣れさせ、読むことが必要である。そのために読解活動の場を設けて指導をお願いします。</p>	<p>○県の平均を大きく上回っています。 ○基本的な文型は定着している。しかし、2点がなかなか理解できていない。名前をほとんど覚えていない。大きく影響している。</p> <p>☆個別指導が必要である。そのためにアンケートを実施し、分析することが大切である。</p>	<p>○県の平均を大きく上回っています。 ○少人数指導の場において平均点は良好であるが、生活実用能力差が大きい。</p> <p>☆個別指導を充実させるためにアンケートの実施と個人カルテを作成し、効果的に実力をつけていく。</p>	<p>※自校の課題 入試問題の改訂により、読解力と表現力が求められる。読解的思考を身につけさせることが重要である。生活実用能力差が大きい。3年間で基礎的な知識と技能をしっかりと定着指導を充実させたい。</p> <p>☆自校で育てたい力や学習態度 *基本読解力。 *書く力を中心とした読解力。</p> <p>☆改善策 読解力向上のメソッドを研究し、実践する。 *書く力を中心とした読解力。 *書く力を中心とした読解力。</p>

Ⅲ-1(1)中学校数学 平成25年度佐賀県学習状況調査《中学校2年数学科》

自校の子どもたちの到達状況

見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識理解	今回の結果から見られる自校の課題
<p>○県の平均を大きく上回っています。 ○重なる二つの部分の面積を具体的に算出する問題は、ほぼ100%の正答率であった。 ○数値関係を見出し方程式をつくらせると資料の傾向を捉えらることで、県平均を大きく上回った。</p> <p>☆課題に対する改善の工夫やアドバイス 方程式をたてる時は、まず、この式を導き出し、導き出した式で考えをたてていく。</p>	<p>○県の平均を大きく上回っています。 ○すべての問題について、県平均を上回った。特に、分数の一次方程式を解く問題では、県平均を大きく上回った。しかし、球の体積を求めるときに単位を代入して、その結果を求めるときは、ほぼ県平均と同じ正答率であった。また、</p> <p>☆課題に対する改善の工夫やアドバイス どの問題もよくできていたが、球の体積の問題は、公式を代入し、単位を代入することができていない。また、式を整理し、単位を代入することが必要になります。</p>	<p>○県の平均を大きく上回っています。 ○絶対値、平行移動、ねじれの位置、反比例のグラフ、最速経路についての問題では、100%の正答率であった。 ○少数分野を使用した平均値の求め方についての問題では、県平均を下回った。</p> <p>☆課題に対する改善の工夫やアドバイス 資料の活用問題では、度数分布表を利用し、相対度数、累積度数と求めることができず、そのほか、そのほかのこの分野の問題を解く必要がある。</p>	<p>※自校の課題 *学習した内容を日常生活に活用すること *文章を読み取って式をつくること</p> <p>☆自校で育てたい力や学習態度 *自分で考える力 *思考の過程を表現する力</p> <p>☆改善策 身の回りいろいろな数量の関係を取り扱うことで、問題を定めていく。図や表をいかに活用して考えさせる。いろいろな考え方を示し、導き出す。</p>

